



能登半島地震から 1 年が経ちました。被災された方々に改めてお見舞いを申し上げ、一刻も早い復旧・復興に国会議員の一人として取り組んでまいります。

我が国は少子高齢化、人手不足に物価高も重なり、内政の課題は山積みです。取り巻く安全保障環境も一段と厳しさを増し、まさに内憂外患です。

平和を守り、暮らしの安心に向け、誠心誠意、職責を果たします。ともに頑張ってください。



1. 財政金融委員長に就任

2024 年 11 月、防衛大臣政務官の職を離れ、参議院財政金融委員会の委員長を拝命しました。この委員会は財務省が所管する所得税法といった国税関連法や金融庁の行政、日本銀行の金融政策をカバーする重要な委員会です。

➤ 店開き

国会ごとに最初の委員会を「店開き」と呼びます。今回は 12 月 10 日でした。委員長として、加藤勝信財務兼金融担当大臣より所信的挨拶を聴取し、19 日には与野党の理事、委員が加藤大臣らと質疑を行いました。

国会閉会日の24日には会期末処理のための委員会を開催しました。不思議なことに、「店じまい」という呼称は耳にしません。



2. 総選挙

自民党は、一部派閥の所属議員による政治関連資金の不記載問題で国民の信頼を大きく裏切りました。2024年秋の総選挙の期間中にも政党支部への「2000万円」支給で傷口をさらに広げ、大敗を喫しました。結果、少数与党で令和7年度予算案の成立を目指すという厳しい状況に追い込まれています。

国民に明るい未来を提示し、その実現に向け真摯に懸命に努力する――。

こうした政治家の姿が政治への信頼の核心です。しかし、先の総選挙で自民党が掲げた公約は「ルールを守る」。これは本来あるべき姿とは大きくかけ離れています。総選挙で国民の支持を得られなかったのはいわば当然の結果かもしれません。



3. 新たな政策課題

➤ 壁を動かす

総選挙では「103万円の壁」を壊し、手取りを増やすと訴えた一部野党が躍進しました。物価高で暮らしへの不安が国民に広がっており、所得税がかかり始める収入の水準を103万円から178万円まで大幅に引き上げるという提案が国民の心に響いたわけです。

しかし、この提案をそっくり実現すると国と自治体をあわせ7兆円以上の税

収減となります。この代替財源を示さない不完全な提案でしたが、我が党の公約「ルールを守る」より、国民の多くを断然、わくわくさせたようです。結果、自公政権は少数与党に転落。令和6年度補正予算案への賛成を取りつけるため、一部野党の求めに応じ、自公政権は課税がスタートする収入水準をまず123万円まで引き上げることにしました。

懐具合を左右する支出には税のほかに社会保険料もあります。106万円、130万円の壁と呼ばれます。これらの収入を超えると社会保険料の支払い義務が発生し、一定の収入までは手取りが減ります。パートの方々の働き控えが起きる原因です。社会保険の制度見直しによる働き控えの解消策も大きな政策課題です。

▶ 「多様な働き方」への政策課題

手取りを増やすには減税や社会保険料負担の緩和もありますが、収入を増やす方策もしっかり考えるべきです。収入アップ策として、私が強い関心を持っているのは「働き方」の再度の見直しです。



<https://hatarakikatakaikaku.mhlw.go.jp/>

農業労働者や高度の専門知識を持つ年収1075万円以上の人らを除けば、働く時間を巡る規制があります。健康を守るのが目的で、これ自体に異論はありません。ただ、健康状態は人によって千差万別であるのにもかかわらず、規制は原則、一律です。

▶ 「元気な人」の働き方改革が必要

健康で、その管理に十分、気を使っている人も少なくありません。そして、今は手に職をつけるため、また、もっと働いて稼ぎたい人にとっては、同じ制限は迷惑な話ではないでしょうか。

仕事と家庭生活の両立が大事であり、労働時間規制が必要だとの主張も耳にします。しかし、当分は独身で、若い間はノウハウを身につけ、稼ぎたいという人にとって、画一的なルールにより、働けないというのは不条理ではないでしょうか。

一方、労働時間の制限は時間内に効率よく働く＝生産性を上げる動機付けに

なっている面があるとも聞きます。

検討すべき様々な点はありますが、健康に十分配慮しながら、多様な働き方を応援する仕組みを考える必要があります。皆さまのお考えを是非、お聞かせください。miyakeshingo@gmail.com

4. 防衛大臣政務官として

➤ 現場を知る

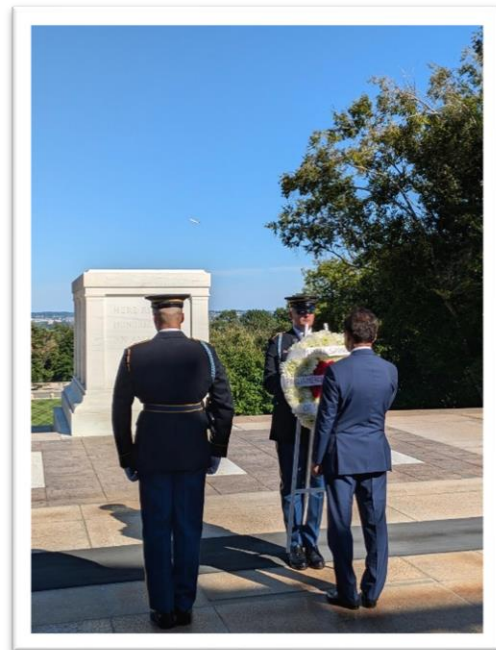
2024年11月中旬まで防衛大臣政務官の任にあり、政治家としてこの15か月は極めて貴重な経験となりました。

2023年9月、任についた際、「最前線を含め、内外の現場へできる限り出かけよう」と決めました。

海外では、24年2月に独ミュンヘン、4月にバルト3国を訪問し、それぞれ安全保障の国際会議に参加したり、防衛協力などについて意見交換。

9月の米国出張ではアーリントン国立墓地での献花、メリーランド州アナポリスの海軍兵学校の視察、国防総省ペンタゴンでは東アジア情勢について意見交換する機会を得ました。

国内では防衛大学校など公表できるものだけで約40回の部隊視察などを行い、現地の隊員、司令から生の声を聞くことができました。



アーリントン国立墓地で献花



アナポリスの海軍兵学校を視察、留学中の防衛大学校生と



試乗@善通寺駐屯地



ミュンヘン安全保障会議での二国間会談

➤ 自衛隊が部隊を置く最東端・最南端：南鳥島

神奈川県厚木基地から輸送機に揺られること約 4 時間。コックピットから見下ろす南鳥島は見事な正三角形の美しい島です (写真¹)。日本の領土の最東端であり、自衛隊が部隊を置く最南端の島です (領土の最南端は沖ノ鳥島)。携帯電話が一切、通じない地で任務にあたる隊員より、状況報告を受け、激励しました。



¹ <https://www.jiji.com/jc/v4?id=torishima0001>

➤ 硫黄島の部隊視察

- ・欧州戦線ノルマンディー上陸作戦で命を落とした米兵は約2千5百人
- ・硫黄島上陸作戦での米兵死者数は約7千人
- ・硫黄島で徹底抗戦した日本軍の死者は約2万2千人



硫黄島のあちらこちらに、蜂の巣のように掘られた壕が残っています。場所によっては気温60度にもなる壕に入り、空気抜きの穴から森を見上げた後、私は再び地上に戻ることができました。

先の大戦から今年で80年。約1万

人の英霊は今も、壕の中などで本土への帰還を待っておられます。(活動の詳細は防衛省HPでご覧ください²。)

➤ 離任式

2024年11月、東京市ヶ谷で行われた離任式は、23年秋の着任時の栄誉礼とあわせ、一生の思い出として私の胸に刻まれました。



戦没者遺骨引渡式
@千鳥ヶ淵戦没者墓苑 (2024年11月)

² <https://www.mod.go.jp/j/profile/minister/vice-minister/miyake/index.html>

➤ 心残り

1000人以上が集まる離任見送りを前に、政務官室で事務次官、官房長、統合幕僚長、陸海空の各幕僚長ら防衛省・自衛隊幹部を集め、最後の懇談を行いました。その際、私は次のように述べました。

「自衛隊が我が国で部隊を置く、東西南北すべての最前線を訪問しました。北端は礼文、西は与那国、また最東端であり、最南端でもある南鳥島です。貴重な経験となり、感謝に堪えません。

ただ、心残りがあります。我が国領土の最北端の択捉島。その部隊視察ができなかったことです。防衛省には必ず、また戻ってまいります。自衛隊が択捉島に部隊を置き、部隊視察できる日を楽しみにしています」



5. バッテリー産業振興、再生可能エネルギー拡大

地球温暖化対策のためには、電気自動車の普及、太陽光や風力発電の拡大が必要であり、これらを後押しする議員連盟の事務局長を務めています。

24年12月、バッテリー材料製造のため、香川県に拠点を置く企業に国の約70億円までの助成が決まりました。



第7次エネルギー基本計画に向け、再エネ拡大を武藤容治経済産業大臣に申し入れ (2024年12月)

新スポット「時の納屋」

瀬戸の絶景を楽しむことができます。
是非、お越しください（写真）。

整備支援した「時の納屋」

@さぬき市大串半島



三宅しんごTV ↑
是非、ご視聴・登録を



自由民主党香川県参議院選挙区第二支部 2025年春・発行

ⁱ <https://sanuki-sa.jp/tokinonaya/>